



# かけはし

## 第55号

2019年4月1日発行  
 発行人:川辺清三  
 編集責任者:横山 滋

## 地域の絆づくりに取り組む

久地第二町会長 栗田 栄治

久地第二町会は、久地2丁目の一部と3丁目の一部の地域の約550世帯の町会です。地域には、桜がきれいなかすみ堤(てい)、障がい者施設のわかたけ作業所があります。町会で自慢できることは、地域住民の絆の強さを実感できる様々な取り組みが行われていることです。

### ●久地いきいきクラブ

発足当初から町内の2ヶ所で、雨風の日も雪の日も毎朝交通整理を行っています。「お早うございます!」とほとんどの子ども達から返ってきます。



### ●久地わかたけ会

平成9年9月に地域運動をきっかけに生まれた地域の絆でスタートした食事会です。65歳以上の一人暮らしの人に毎月1回行い、258回目を迎えました。スタッフが食事を手作りし誕生月には花のプレゼント。また、地域みまもり支援センター・地域包括支援センター等の協力により“消費者被害”“健康管理”などの勉強会を行っています。



### ●久地かすみ堤

久地小学校の学習見学するようになって4年目。かすみ堤の保存に取り組んでいる方々が手作りの資料を使って、久地小の“郷土の学習”のお手伝いをしています。

“桜まつり”は久地第一町会北支部と共催で、年々たくさんの参加者を迎え盛大に行われ、今年から新たに久地東町会も参加して頂くことになりました。

“久地かすみ堤”保存の取り組みに際しましては近隣町会・高津区役所はじめ多くの支援していただいた方々に改めてお礼申し上げます。

### ●高齢者見守り連絡会

久地いきいきクラブ・久地わかたけ会・民生委員児童委員・町会・高津区役所・樹の丘地域包括支援センターが合同で取り組んでいる会です。お困りごとを抱えているお年寄宅をチームで訪問し相談に対応しています。

また、町内会ではごみ集積所の管理や美化活動にも取り組んでいます。

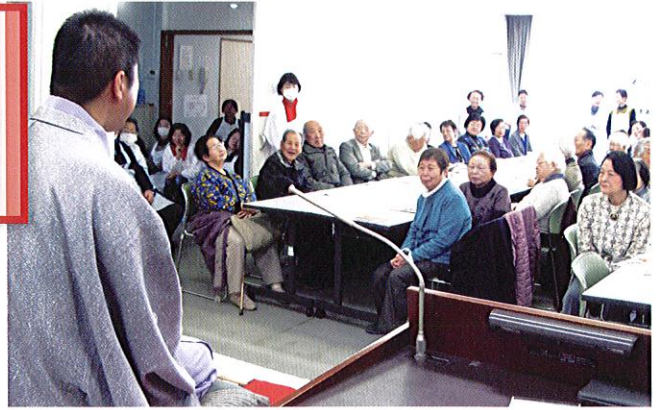


# 福寿草の会とは…

“福寿草の会”は一人暮らし高齢者の見守り事業として実施しています。

年5回の“会食会”と年2回の地域内の老人会と共催で歩こう会、年末には、ひとり暮らし高齢者に慰問品をお届けしています。事業開催の案内、慰問品等を届けの都度、健康に過ごされている事を確認したり、近況をお伺いする見守り活動を行っています。

現在自己申告で102名が会員登録されており、地域の民生委員児童委員が社会福祉協議会の一員とし見守り活動を行っています。



第188回 笑いは百薬の長、初の落語高座

**第185回** 開催日:9月13日 参加人数:71人

アトラクション:パントマイム

お赤飯・天ぷら・野菜の煮つけ・和え物・デザート(梨)・紅白饅頭

**第187回** 開催日:11月8日 参加人数:72人

アトラクション:南京玉簾

コロッケ・シュウマイ・お浸し・煮豆・けんちん汁・デザート(柿)

**第188回** 開催日:2月14日 参加人数:67人

アトラクション:落語 桂米多朗師匠

ハンバーグ・野菜スープ

第186回福寿草の会・秋の歩こう会は天候不順のため中止となりました。



第185回 パントマイムで和やかな会話

第187回 南京玉すだれの妙技?

くじふれあいまつり  
元気はつらつ  
パワー全開

11月16日(土)くじふれあいまつりがくじ老人いこいの家とくじ保育園を会場に、約300人の来場者を迎え開催されました。午前はいこいの家の教養講座受講者の詩吟・健康体操・踊り・カラオケ・

フラダンスなど日ごろの練習成果をはつらつと披露され、来場者と一体になって楽しみました。ま

## 第2回くじふれあいまつり

くじ老人いこいの家とくじ保育園



かわいい園児たちの演技

た、今年初参加の“安来節の踊り”が会場を盛り上げました。

午後は、高津警察署による振り込め詐欺の防犯講座、くじ保育園児による発表会などが行われました。祭りの終わりは、大人気のビンゴゲームが行なわれ、会場は熱気に包まれ、みんなで楽しむことができました。



初登場で盛り上がった安来節

# 助けて救命講習会あなた! ください、その

10月18日(木)大山街道ふるさと館で、救命講習会を開催しました。誰もいつどこで倒れて生命の危険に会うかわかりません。そんな時、その場に居合わせた人(バイスタンダーと言います)が、救急車の到着までの時間(平均9分間)に救命処置を行うことが大切です。3分以内に救命処置を行えば、生存可能性は50%といわれています。死に至らずに再び社会に復帰できる可能性があるのです。

その場に居合わせた人が、いかに速やかに救命処置を取れるのかが鍵なのです。誰でもがどこでも救命処置が取れるように、繰り返し訓練していることが大切です。

受講者の方々はAEDを使用した実習や、異物がのどに詰まった時などに行う窒息防止の2種類の気道異物除去法を熱心に学んでいました。バイスタンダーに期待される役割は、早期認識と通報・一次救命処置です。第一地区社協は、多くの人が講習会に参加できるよう参加費の助成を行っています。



心停止の予防

早期認識と通報

一次救命処置  
(心肺蘇生とAED)

二次救命処置と  
集中治療



回復体位の訓練

## 保護司退任にあたって

高津区保護司会相談役

高津第一地区社会福祉協議会副会長 **赤津 武雄**

昭和56年5月25日保護司を拝命し、その後社協の役員として入会、在任期間は38年間となります。

社協での思い出は、福田牧場の社長のご理解のもと、毎年行われる移動動物園の行事です。子供たちの歓声や愛らしい動物たちとのふれあいは心に残るものです。あいにくの雨の日は、キャンセル料が発生する時でも同じ地域に居住しているということでキャンセル料を取らず、ご協力いただいたことも一度や二度ではありません。

地域のみなさんが協力しあえる街は素晴らしいこと。社協が益々発展しますことを心より祈念いたします。長きにわたってお世話になりありがとうございました。



## 林さんに自治功労賞



地域福祉や住民自治の振興に、久地西町自治会長として貢献された林孝行さんに川崎市自治功労賞が授与されました。林さんは第一地区社会福祉協議会の会員です。

東日本大震災を契機に児童の下校時見守り対応マニュアル作りや通学路にアジサイを植えて花いっぱいの明るい街づくりを進めているとのこと。地域住民が顔見知りになり、若い世代と年配者世代が交流できるような自治会運営に努めているとのこと。地域福祉の原点は、人と人がつながりあい“ホッとできる町”にあると思うと語られました。

高津区保護司会  
社会貢献活動

日本民家園で生垣の剪定

1月29日9時から、保護観察中の人たちと共に生垣の剪定を行いました。終了後「緑の中の作業は初体験であり、リフレッシュできました」「ご苦勞様、ありがとうと声をかけられ、生垣がきれいになってとても嬉しい」と成果を得た一日でした。



平成 30 年度賛助会費は 1,089,000 円

● ● ● ご協力に感謝します



賛助会員の皆様のご協力により当地区の 30 年度賛助会費は合計 1,089,000 円となりました。会員数は 318 件（個人および企業・団体）です。ご協力ありがとうございました。

賛助会員とは、当地区（溝口・久地・宇奈根）の社会福祉事業にご賛同いただいた皆様に財政支援をお願いしている制度です。

主な活動には、ひとり暮らし高齢者へのサービスや敬老お祝い事業、親子の集い（移動動物園など）あるいは地域ケアシステム支援、ボランティア団体への協力などです。

おわかりのように賛助会員に直接の利益や見返りがあるものではなく会費は地区内（一部は高津区全体）の福祉の形で地元に還元されます。

この機会に当地区社協として皆様にお願ひがあります。平成 30 年度は 318 件の皆様にご協力いただきました。しかし現在の世帯数・人口から想定

	人口	世帯数	賛助会員	賛助会費計
第一地区	30,232 人	15,564 世帯	318 件	1,089,000 円
高津区全体	228,258 人	111,803 世帯	2,794 件	5,284,000 円

人口・世帯数は平成 30 年 12 月

される今後の福祉活動の需要のために賛助会員の増員が必要です。

1 口 1,000 円で何口でもご加入いただけます。高津区社会福祉協議会事務局（044 - 812 - 5500）あるいは当地区社協委員までご連絡ください。

**共同募金にもご協力いただきました  
今後ともよろしくお願ひします**

平成 30 年度高津区の赤い羽根共同募金と年末助け合い募金がまとまり、事務局から報告がありました。合わせて皆様にご報告いたします。

**赤い羽根共同募金 12,959,273 円**  
**年末助け合い募金 8,926,992 円**



2 月 20 日～ 21 日、栃木県の“こころみ学園”へ研修に行ってきました。入所者（園生）の平均年齢は 57 歳。高齢で知的障がいを持つ 100 余名の方が暮らす知的障がい者支援施設です。

1950 年に支援級の中学生達により開墾された傾斜 37 度の畑で収穫されたぶどうを使ったワイン作



急斜面のぶどう畑で剪定作業

り。しいたけの原木栽培などを行う一方、生活全般も自分たちの手で行っているそうです。施設の人も感心している事の一つに、洗濯係の人たちは、毎日出る約 100 人分の洗濯物を間違いなくその人の所にきちんと届けるのだそうです。

“自分のできる事をできる範囲で行う” “意欲をもって働くこと” “それぞれの人が必要とされる事” など、とても大切なことを改めて気付かされました。

## 編集後記

4 月。スタートの月。何か新しいことを始めようと思われている方も多いのではないのでしょうか。私は社協を通じてたくさんの人たちとつながっていったら良いな、と思っています。せっかく、縁があって、ここで暮らしているのですから……。新しい事の一つとして近くの人とつながってみませんか！ (W)

編集委員 小竹正美・佐野せつ子・本多栄治  
望月正一・矢島真理子・横山滋・若林豊茂美

高津第一地区社会福祉協議会 事務局  
高津区溝口 1-6-10 てくのかわさき 3F  
TEL. 044-812-1879 FAX. 044-612-3548